

あとがき

11月上旬までは暖かな日々が続いており、冬がなくなったかのような錯覚に陥っていましたが、下旬になり日本全体が急に寒さを増してきました。地球温暖化が進むと、海洋の大規模対流がなくなり、冬は極端に寒く夏は酷暑になるとされていましたが、クリスマスの日本の大雪や北米の大規模停電をみるとその通りのようです。ウクライナ戦争はいまだに終息の兆しがみえません。戦争の悲惨さもさることながら、世界中で進むインフレ、急速な円安を伴う日本経済の停滞、新型コロナウイルス感染症の猛威など2022年は悪い意味で世界史に残る年になりそうです。

さて、今月の話題は「視神経炎診療のブレークスルー 病態理解から新規治療まで」です。私の専門の網膜疾患の治療は、21世紀になって導入された抗 VEGF 治療により一変しました。また診断も光干渉断層計の導入により、眼底観察に頼っていた学問が一変しました。この2つの変化は網膜診療における歴史的革命を引き起こしたといっても過言でありませんが、これは魔法のように突然現れたものではなく20年以上にわたる地道な研究の成果です。同様な地道な研究は視神経疾患の分野でも行われており、その結果、以前は病態が判然とせずその議論すら進んでいなかった視神経疾患の病態の分類や治療方法などが整然と理解されるようになりました。網膜領域の変化は、疾患数の多さや関連業界による広報活動により、多くの方々が実感しているでしょうが、視神経疾患は重要な領域にもかかわらず認知度は決して高くないようです。今回の特集は、そのような視神経疾患の最新の情報をまとめました。また、次の大きな変化は遺伝子治療だとされていますが、そのためには遺伝カウンセリングは不可欠です。その点について、辻川元一先生に「今月の話題」で解説をしていただきました。どちらの内容も専門家でない読者にもわかりやすいように書かれています。日常診療に必ずお役に立てるものだと思います。

(坂本 泰二)

編集顧問 増田寛次郎 大野重昭 玉井 信 三宅養三 西田輝夫 水流忠彦 根木 昭
寺崎浩子 中澤 満 下村嘉一 井上幸次
編集委員 坂本泰二 鈴木康之 稲谷 大 堀 裕一 西口康二 黒坂大次郎

臨床眼科 (第77巻 第2号)

2023年2月15日発行 (毎月1回15日発行)

定価 3,080 円 (本体 2,800 円+税 10%)

(2023 年年間購読料 (増刊号を含む 13 冊, 税込, 送料弊社負担))
冊子版 44,154 円
電子版 (個人) 44,154 円
冊子+電子版 (個人) 49,654 円

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 俊

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室 (03) 3817-5706 FAX (03) 3815-7802

E-mail: ringan@igaku-shoin.co.jp

販売・PR 部直通 (03) 3817-5659

印刷所 三報社印刷(株)

広告取扱 (株) 文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

別刷取扱 (株) 医学書院販売・PR 部 電話 (03) 3817-5696

- ・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo Bunkyo-ku, Tokyo © 2023, Printed in Japan.
- ・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は株式会社医学書院が保有します。
- ・ 本誌を無断で複製する行為 (複写, スキャン, デジタルデータ化など) は, 「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的 (診療, 研究活動を含む) で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- ・ **JCOPY** < 出版者著作権管理機構 委託出版物 >
本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は, そのつど事前に, 出版者著作権管理機構 (電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。
- ・ 「臨床眼科」は株式会社医学書院の登録商標です。

担当 山本・松井・安部